

小清水の海岸保全 完成しました

自然豊かで風光明媚な小清水の海岸線は網走国定公園に指定されており、産業・生活・憩いの場として利用されています。

この海岸は、古くから風による波浪などにより、海岸の侵食や越波などの被害が甚大でした。背後地には、**農地** や住宅などがあり、地元住民の生活基盤の安全性について多くの不安があり、**海岸を保全する整備の必要** がありました。

この問題を解消するために、昭和62年、道営海岸保全事業 小清水地区がスタートしました。長い年月をかけ、天然の砂浜海岸に風浪、越波に耐えられる様、ひとつひとつブロックを設置しました。

平成24年秋、最後の工事を終え、待望の農地海岸2,874mの護岸工事が完成を迎えました。

道営海岸保全事業 小清水地区 事業概要

事業者:オホーツク総合振興局 事業名:道営海岸保全事業
地区名:小清水地区 工期:S62~H24 総事業費:2,501,552千円
総延長:2,874m 防護面積:農地249ヘクタール
宅地151ヘクタール 防護戸数15戸 防護人口 50人

北見沿岸 海岸保全基本計画

北見沿岸海岸保全基本計画は、国が定めた基本理念を次世代に継承してゆくことを目指し、災害の防護、海岸環境の整備保全、公衆の海岸の有効利用等を図り、これらが調和する様、北見沿岸所管の水産、河川、農政の各部署が事業主体となり計画的に整備を行うものです。道営海岸保全小清水地区は、この基本計画の中で農政部門とし、オホーツク総合振興局産業振興部が所管し農地を守る海岸保全の事業運営(工事、維持管理)を行っています。

A 北オホーツクゾーン
豊かな自然環境・生態系の保全



B 枝幸・雄武・興部ゾーン
波浪に対する安全性の確保

- 安全な海岸
- 自然環境との共生
- 海とのふれあい、やすらぎ
- 地域をいかした海岸づくり

青白き海辺と小清水原生花園

～きれいで たのしく みな安全 流氷の訪れる北見沿岸～

紋別港港湾区域左岸

C 紋別・能取ゾーン
砂浜の保全

E 知床半島ゾーン
優れた自然環境の維持

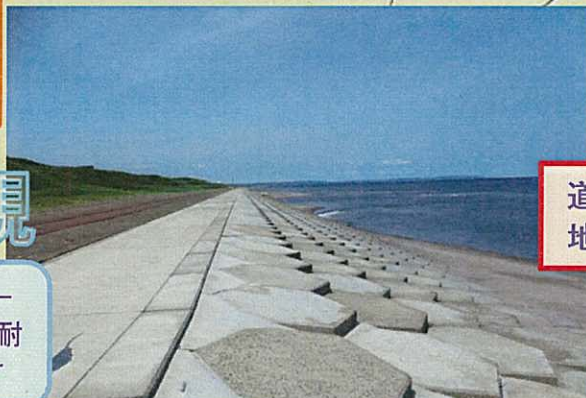
海辺に広がる原生には鮮やかな小清水町花「エゾスカシユリ」が初夏の彩りを引き立てます

道営海岸保全事業 小清水地区(農地海岸) 平成24年度完成しました。

D 小清水ゾーン
砂浜や海浜植生等の豊かな自然環境の保全

護岸景観

事業で設置した護岸はオホーツクの景観に融和し、荒波に耐え雄々しくたたずんでいます



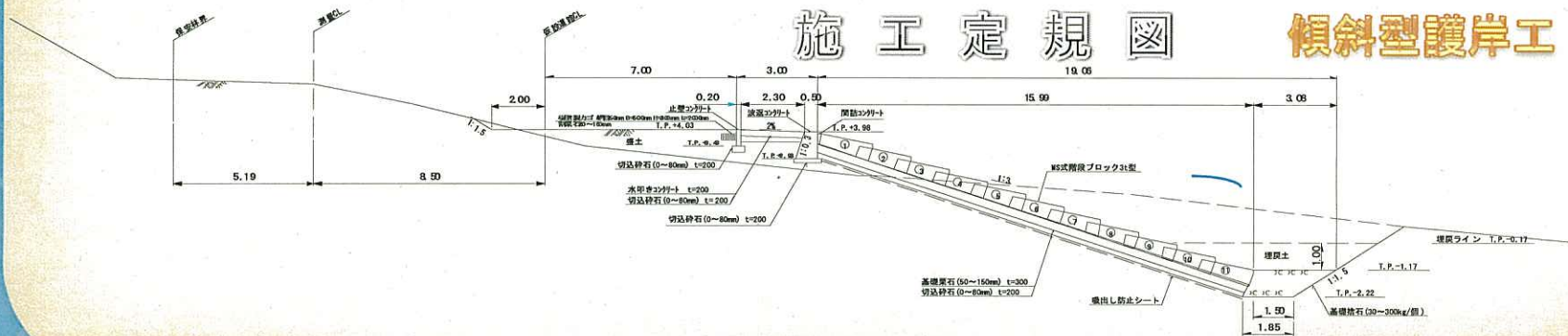
事業の軌跡

道営海岸保全事業小清水地区

施工前



施工後



事業の軌跡

道営海岸保全事業小清水地区

施工前



経年後

